

2025 年度 高等学院同窓会学術研究奨励金 研究成果報告書概要（WEB 公開用）

高等学院長
高等学院同窓会理事長 殿

研究代表者氏名 [青山 樟人]

学年・組・番号 [1 年 L 組 24 番]

研究課題： 古代における伊勢神宮と猿田彦神社からみる伊勢志摩地方の神道信仰の歴史学的考察

(英文) A historical study of Shinto beliefs in the Ise-Shima region from the perspective of ancient Ise Shrine and Sarutahiko Shrine

研究概要：

(研究課題を選んだ動機、達成するための計画・目的・方法等について 200～400 字で記入してください)

本研究は、三重県伊勢市に鎮座する伊勢神宮と猿田彦神社を軸に、伊勢志摩地方における信仰の特徴と地域の起こりとの関係を明らかにするものである。伊勢神宮は正宮や別宮、摂社・末社を通じて周辺地域に大きな影響を及ぼしてきた存在であり、猿田彦信仰も『古事記』『日本書紀』に基づき、地域社会と深く結びついている。申請者は志摩市での在住経験から、この信仰に関心を持ち、研究を行った。研究方法としては、伊勢市・志摩市で現地調査を行い、磯部の御神田などの神事の見学、資料館での史料調査、住民への聞き取りの実施などを計画していた。さらに、大学図書館で神道や日本神話の文献調査を挙げた。本研究の成果としては、来年度以降の継続研究を視野に入れながら、研究成果報告書の論文執筆を行った。

研究成果：

(研究の結果概要、結果に対するフィードバックや感想等について 200～400 字で記入してください)

夏季休業・年末年始期間に現地調査を実施し、志摩市歴史民俗資料館や伊勢神宮及びその関連神社・史跡の訪問、大学図書館にない貴重な文献の入手を行った。しかし、「御神田神事」などは日程の関係上、見学は実現しなかった。現地調査・文献調査を踏まえ、執筆・口頭発表（学芸発表会）をした論文「志摩市磯部町における神道信仰の展開 ——磯部町の伝承・信仰と猿田彦研究——」では、「古代における伊勢神宮と猿田彦神社からみる伊勢志摩地方の神道信仰」の中でも、特に志摩市磯部町と猿田彦、神話の視点からその関係性を分析した。申請者にとっては初の試みであり、完成に漕ぎつけたことは大きな喜びであったが、執筆を終えてからの調査などで改善点も明らかになってきた。大学図書館にはさらに多くの神道関連書籍がある。来年度はそれらを活用しながら、本研究での論文についてさらに分析と考察を深め、新たな視点を加えながら進めていきたい。

研究者：（以下の、代表者・分担者は学年・組・氏名を明記する）

研究代表者 1 年 L 組 青山 樟人

研究分担者 3 年 D 組 勝田 英翔 3 年 D 組 平井 利空

担当教諭 松澤 徹 (受給額： 30,000 円)

※研究課題、研究概要、研究成果、研究代表者名が WEB ページ上で公開されることに同意します
(次のページに続きます)

研究成果写真：

(研究過程がわかる写真や、研究結果がわかる写真などを数点貼り付けてください)



写真 1：佐美長神社（2025 年 7 月 20 日、申請者撮影）



写真 2 : 猿田彦神社 (2025 年 7 月 20 日、申請者撮影)

以上